

令和5年度 小野市認知症地域支援推進員活動報告

地域支援推進員について

1. 認知症地域支援推進員：2名
2. 認知症地域支援推進員の役割
 - **地域における認知症の人やその家族の支援体制の構築**
認知症の人やその家族からの相談支援
絆カフェ（認知症カフェ）の開催
「チームオレンジおの」
 - **地域の関係機関との連携**
医療機関や介護の関係者との連携
認知症初期集中支援チームとの連携
 - **認知症の理解や対応力向上のための支援**
認知症サポーター養成講座の開催
認知症の人の家族を対象とした介護教室の開催



報告者：小野市地域包括支援センター 今枝陽子

小野市の認知症施策

認知症の理解のための普及・啓発と本人発信支援

- 認知症サポーター養成講座
- 認知症キッズサポーター養成講座
- 出前講座（認知症について）
- 認知症啓発図書の掲示
- 高齢者外出見守り模擬訓練
- 総合相談窓口の周知
- 本人発信の場を設ける

医療・ケア・介護サービス・介護者の支援

- 認知症初期集中支援チームによる支援
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 小野市もの忘れ検診
- もの忘れ外来や認知症疾患医療センターへの受診勧奨
- 認知症サポーターステップアップ研修
- 「チームオレンジおの」の活動
- 認知症ケア向上推進事業
- 絆カフェ（認知症カフェ）、絆カフェ連絡会
- 認知症高齢者等見守り機器購入費等助成事業

認知症予防施策の推進

- 認知症予防のための取り組み支援
- 通いの場の啓発活動
- いきいき100歳体操
- 「おの楽しく体操」DVDレンタル
- 脳トレテキストの配布
- 出前講座（認知症予防）
- 認知症ケアネットガイドブック活用

若年性認知症施策の強化

- 総合相談窓口の設置
- 認知症疾患医療センターや若年性認知症支援コーディネーター等との連携
- 若年性認知症支援ハンドブックの配布
- 本人や家族の交流の場を作る

認知症バリアフリー推進と社会参加支援

- 「認知症バリアフリー」の推進
- 高齢者外出見守り事前登録制度
- 「チームオレンジおの」の活動支援
- 広報誌へ情報掲載

地域共生社会・認知症バリアフリー実現にむけた取組

認知症の人本人の社会参加・発信への支援

本人の社会参加

和裁士の経験を生かして、市内のデイサービスで、手芸ボランティアのお手伝いをしてくださることになりました

チームオレンジおのチーム員も、本人の活動の補助をしています。これからも本人のやりたいこと、できることを続けていけたらと思います。



チームオレンジおの

チーム員同士や、絆カフェのスタッフさんとの情報交換の場になっています。
小さい子どもを連れた若いお母さんも居られ、多世代交流の場にもなっています。

わかみや会見学

小野市でも、本人・家族交流会を立ち上げるべく西宮市で活動をされている『わかみや会』に参加させていただきました

絆カフェで、地域の方と交流しています



【課題】令和6年度立ち上げ予定。計画、準備を進めていきます。

地域共生社会・認知症バリアフリー実現にむけた取組

認知症の正しい理解を広めるための普及啓発

認知症サポーター養成講座



認知症キッズサポーター養成講座

アンケートより（認知症キッズサポーター養成講座）

- わたしは、にん知症の人にどういふに話せばよいのかよく分かりました
- 認知症は、なにもできないわけではなく、できることもたくさんある
- 相手の気持ちを考えて行動するのと、おだやかなたいどでゆっくりせつするのが大切だとわかりました
- 「大丈夫だよ」とあたたかいことばを声かけたいです
- おじいちゃんおばあちゃんがにんちしょうになっても、せめずにきもちを分かってあげたいと思いました

計386名の認知症キッズサポーターが誕生しました
（平成27年度の実施開始以降、累計3,635名）

【受講者数134名】今年度は、新成人の方から100歳の方まで、幅広い世代の方に受講いただきました

高齢者外出見守り事前登録制度

登録を希望された、市内在住の65歳以上
又は40～64歳で要介護認定を受けている人に
「お出かけ見守りQRコードシール」を
無料で10枚お渡ししています

発見者がスマートフォンでQRコードを読み取る

市の連絡先が表示される

市や警察へ、シールに印字された個人番号を伝え、
素早い身元確認・保護へ

令和6年3月末現在 登録者数109名
制度開始からの累計では214名の登録をいただいています

認知症高齢者等見守り機器購入費助成

認知症等により行方不明になるおそれのある高齢者等の
所在を特定することができるGPS機器の購入
またはレンタルに係る初期費用の一部を助成しています

令和6年3月末現在 利用者数4名

【課題】GPS機器の購入やレンタルは、個人でしなければならず、高齢者（家族）には難しいことも多いようです🙄



高齢者外出見守り模擬訓練

認知症を正しく理解し、認知症の方に配慮した声掛けや見守りができるように、平成27年度より年に1回実施しています



認知症サポーター養成講座

声かけの仕方を寸劇で学ぶ



警察官や模擬警察署に通報する

参加者の声

- 認知症の人への対応がよく分かった
- これからは認知症の人が増えてくると思うので、勇気を出して声かけしていきたい
- こういう学びを重ねると思いやりのある町づくりにつながると思う
- まずは、地域の方とのコミュニケーションを第一歩としてスタートできればと思う
- 見守りQRコードシールの役目がすごい
- 実際は、声かけは少し難しい気がする



QRコードシールの読み込み体験

どう
されましたか？

声かけ体験



令和5年9月30日実施 85名が参加
地域住民の方や介護サービス事業所にもご協力いただきました

認知症図書の掲示

小野市立図書館の特設コーナーに
認知症に関する本を掲示

認知症に対する関心が高まって
おり、たくさんの方に借りてい
ただいています。毎年好評です。



認知症地域支援推進員としての思い

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるように、今後も引き続き、認知症に対する正しい理解の普及啓発と、認知症の方を支える地域の皆さんの支援ができればと考えています。

年々、認知症に対する関心も高まってきていると思います。
誰もが『自分ごと』として受け止め、『困ったときはお互いさま』と言える地域作りができればいいなと思います。